

## 道東地域<sup>1</sup>の金融経済概況

### 【全体感】

道東地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から、厳しい状態にあり、足もとでは持ち直しの動きが鈍化している。

すなわち、公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、高水準で推移している。住宅投資は、振れを伴いつつも基調として減少している。個人消費は、持ち直しの動きが鈍化している。生産は、減少している。労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により、緩和の動きがみられている。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症が管内の経済活動全般に及ぼす影響などを注視していく。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

公共工事請負金額は、振れを伴いつつ、年度累計で見れば高水準で推移している。

設備投資は、高水準で推移している。

道東地域の12月短観における2020年度設備投資計画は、新型コロナウイルス感染症の影響から慎重な投資計画となっている先がみられるものの、一部先で収益予想の上振れを主因に必要な投資を再開する動きがみられ、全体では前年を上回る計画となっている。ただし、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響などを背景とする不確実性が高いことから、今後の投資実行状況を注視していく必要がある。

住宅投資は、振れを伴いつつも基調として減少している。

新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲いずれも前年を下回った。

個人消費は、持ち直しの動きが鈍化している。

主要小売店売上高は、内食需要から堅調となっている。

---

<sup>1</sup> 道東地域とは、当店の業務区域（釧路、帯広、根室の3市および釧路・十勝総合振興局、根室振興局の所管区域）を指す。

耐久消費財をみると、乗用車新車登録台数（含む軽）は、普通・小型乗用車、軽乗用車ともに前年を上回った。家電販売は、堅調となっている。

旅行・観光関連をみると、空港乗降客数、主要温泉地の宿泊人数、市内ホテルの宿泊人数は、主要な顧客層により区々の動きとなっているが、総じてみると新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い持ち直しの動きが鈍化している。

## 2. 生産

生産は、減少している。

主要生産品目別にみると、乳製品は生乳生産量の増加を背景に、高水準で推移している。水産加工品は主力加工魚種の不漁を主因に減少している。紙・パルプ製品は低水準で推移している。

## 3. 雇用

労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により、緩和の動きがみられている。

有効求人倍率は、前年を下回った。

## 4. 企業倒産

企業倒産は、倒産件数、負債総額ともに前年を下回った。

## 5. 金融情勢

預金残高は、法人預金の増加を主因として、前年を上回っている。

貸出残高は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う法人資金需要の高まりを背景に、前年を上回っている。

貸出約定平均金利は、低下している。

以 上